

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について

加古川市氷丘南小学校

令和6年4月18日に、6年生を対象として実施された「全国学力・学習状況調査」の結果について、概要をお知らせします。

【学力調査 国語】

《成果と課題》◎：成果、▲：課題

◎平均正答率は、全国平均を大きく上回っている。

◎話し言葉と書き言葉の違いや、漢字を使って書き直す問題「きょうぎ（競技）」「なげる（投げる）」においても、全国平均を大きく上回っている。

▲日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができるかの問いに対し、適切なものを選択する問題において、全国平均を下回り、無回答率が高い傾向が見られた。

《今後の指導》

日常的に読書に親しめる機会を増やし、目的や意図に応じて読書の楽しさに気付くことができる力を高める指導を目指したい。

【学力調査 算数】

《成果と課題》◎：成果、▲：課題

◎平均正答率は、全国平均を大きく上回っている。

◎図形・変化の関係（円柱の展開図について、側面の長方形の横の長さが適切なものを選ぶ）・データの活用（示された桜の開花予想日の求め方を基に、開花予想日を求める式を選び、開花予想日を書く）に関する事項は、大きく上回っている。

▲求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる無回答率が高い。

《今後の指導》

「速さ」・「体積」領域が正答率4割台となっている。公式を覚えるにとどまらず、単位の変換の理解が不十分な児童へのフォローアップなどにも取り組みながら、文章題を読み解く中で、文中のヒントに気づき、解き進める楽しさを感じられる指導や、苦手意識の払拭に努めたい。

【児童質問紙調査】

《成果と課題》◎：成果、▲：課題 ※全国平均値と本校の比較

◎学校外での学習時間は、平日・休日を問わず大きく上回っている。

▲友だち関係で良好な結果となったが、学校が楽しい関連項目が大きく下回った。

《教科の好き嫌いに関して》

◎算数は、若干上回った。

▲理科・英語は、大きく下回った。

主なマイナス項目：理科→自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てる。

英語→英語の勉強は大切だと思う。